

5月定例集会レポート



会長挨拶（写真左）

5月14日（日）安全にはくれぐれも注意してください！と会長はみんなには言ったが、一人だけ、聞いてない人が居た。1時間後、鎌で自分の指を切った人が居た。幸い、深さ数

ミリで大事には至らなかったが、痛くて夜も寝られなかったと言う。

指は末梢神経の密度が高いから一際痛いもの、次回から、全員に注意を徹底させることを心に深く誓われたに違いない。



作戦会議（写真左）

当日の攻撃の目標地の説明を受ける会員達。

2班に分かれて、1班は深坂茶屋の崖の上、他の1班は森林組合事務所向かい側の駐車場および、横手

崖の下。本日の参加者は41名。主力は維持管理部会のかたがた。流石は維持管理部会、意気軒昂だ。



深坂茶屋駐車場

みなさんやる気十分です。高所恐怖症の人はご注意ください。道を登ってきたのだが、ふと下を覗いてみると、ぞお～。暑いときにはいいかもねえ。（写真左）



森林組合事務所下

（写真左）こちらは人海戦術。エンジンカッターを買おうという声も。だが桜の近くは手で刈ってからしないと、気がついたときは桜もばっさりというケースがあります。



豚汁（写真左）

作業が終わった後は、豚汁。いやあ、疲れた！ イヤ、まだ疲れるほど仕事をしていない！ひとさまさま。しかし、食べ始めると急に静かになった。あ～、はらわたに染み通る。うまいっ！



早起きは三文の得

（写真左）9時集合だって、8時に来て悪いわけはな

い。みんなが来る前に、ホレ、一仕事！「え～？わらび？どこで採ったん？ん？ん？」「企業秘密！」というひともられます。次は、いつか山菜採りの講習会もという声も。



資材置場設置（写真左）

市からテント倉庫の一部をさくら友の会の資材置き場として借りることができました。これで毎回、資材や道具を車に積んで運んでくる

必要がなくなります。大助かりです！

参加者の服装

服装：長袖、長ズボン、帽子、軍手、手拭い、雨具

色：スズメバチが攻撃する色の順序

1. 黒（危険）
2. 赤、青
3. 黄、白（最も安全）

履物：運動靴、長靴、地下足袋など

道具：剪定鋏および鋸は持参。鎌は友の会で準備。

その他：ゴミ袋、ハンドマイク、看板は友の会で準備

資料

日本人は どうして桜が好きなのでしょう？

ほんの短い期間に花を咲かせてすぐ散ってしまうので、”今回だけ”というありがたみが強いのでしょうか？ それならよその国でももっと好かれても良いと思うのですが。

私自身は満開の桜が一番好きです。あの一滴でも加えたらあふれて零れ落ちそうになる花々の感じがなんともいえません。

インターネットで調べたのですが、日本では、中国大陸から渡ってきた人々が稲作の文化を伝え、桜の花の時期をもとに稲を植える時期を知り、花の散り具合を見て、その年の米の出来具合を占ったというくだりがありました。桜は神さまの宿る木として信じられ、満開の桜を見上げては、神さまにお酒など捧げ物をして豊作を祈った、それが花見の起源になっているようです。桜を好む日本人は弥生人ということでしょうか？ また、山の神様のことをさ神様と呼ぶらしく、民族学では、田植え月である五月に際立って現われる「サ」という言葉が「サクラ」のサと通じるのではないかといことでした。こうやってみると、さくら友の会の活動は日本古来の宗教、文化に密接につながっているようで、深坂の森の植樹した桜が全て大樹となり、さ神様の依る、サクラ（さ座）になることを願わずにはおれません。（記広報部員浅野史也）

投稿

会員の声の投稿を待っております。（字数 200～400）

予 定 定例会は常に草取り作業などを目標に集合します。雨天のときも集合を原則とし、天気次第で急遽レクリエーションに変更することもあります。

次会定例会 9月9日（日）予定

維持管理部会 8月27日（日）10:00 LC 例会場